

各 位

化学部会/化学装置に係る設備管理の勉強会 (c-SKG) 開催のお知らせ

## 【計画概要】

主催団体：近畿本部化学部会

共催団体：化学物質管理研究会 (MOCS 研)

開催頻度：年 5-6 回隔奇数月土曜 MOCS 研拡大幹事会と併催 1 講義 1-2 時間程度

開催場所：(公) 日本技術士会 近畿本部会議室 (大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館 2 階)

講義内容：1 年目(2018 年度)は教材紹介と動機付け、**2 年目 (2019 年度) は輪読会形式**、  
3 年目 (2020 年度) は事例検討会形式とする。

講 師 陣：

第 1 講座 設備管理	松山 久義 工学博士 (九州大学名誉教授)
	丸山 正男 氏 (日本設備管理学会人材育成研)
第 2 講座 化学装置	安田 稔 技術士 (化学、近畿化学協会安全研究会)
	若林 真樹 技術士 (経営工学、MOCS 研)
第 3 講座 化学物質管理	伊藤 雄二 技術士 (化学物質管理士協会、MOCS 研)
	橋本 隆幸 技術士 (化学物質管理士協会、MOCS 研)
第 4 講座 見学会の開催	和田 信之 技術士 (近畿本部化学部会、MOCS 研)
	橋本 隆幸 技術士 (化学・総監、近畿本部化学部会)

## 【2019 年度講義】

(都度の開催案内で確認をお願いします。)

第 1 回	7/6 (土)	丸山講師	設備プラントの一次情報の IoT デバイス化
		伊藤講師	事事例から潜在的化学反応の危険性を抽出
第 2 回	9/11 (水)	見学会 & 講演会 (化学部会と共催) 日鉄テクノロジー(株)尼崎事業所 分析センター (金属腐食分析など)	
第 3 回	11/2 (土)	丸山講師	設備・プラントにおける IoT システムの構築
		安田講師	化学設備関連法規について (第 2 回) 届出実務
第 4 回	1/25 (土)	丸山講師	IoT デバイス・データの AI 活用法
		橋本講師	混触危険物質について考える
第 5 回	3/14 (土)	丸山講師	利活用を促進する人材育成プラットフォーム ほか
		田村敏雄氏(近化協)	企業技術者からみた大学の環境安全管理
<交渉中の講師陣> 周防元一技術士 (四国)：石油精製 藤田稔技術士 (化学部会顧問)：潤滑剤などの基礎と応用 齋藤俊技術士(化学)：神戸高専非常勤講師：化学工学プロセス設計の分野			

案 内 先：MOCS 研累積案内者、近畿-化学部会 (+協賛部会)、化学物質管理士協会、協賛団体ほか

参 加 費：参加費 (資料代)：c-SKG・MOCS 研セット：会員 2,000 円、非会員 3,000 円

協賛団体(化学部会担当)：参加費は無料、但し欠席で資料のみ請求は非会員扱い

化学物質管理士協会会員：参加費、欠席で資料のみ請求共に会員扱い

会員資格：c-SKG 会は日本技術士会の会員、MOCS 研は化学物質理研究会の会員

## 【技術資料の収集】

- ・月刊「化学装置」毎年 8 月号より定期購読 費用 ¥19,080- 回覧は講師と参加者(希望者)
- ・混触ハンドブックを過去 60 年前まで資料を遡及中 ほか各種関連技術文献の収集を予定

以 上

各 位

化学部会/化学装置に係る設備管理の勉強会開催のため近畿本部協賛団体ご参加のお願い

伊藤 雄二

公益社団法人日本技術士会 近畿本部 化学部会長（押印省略）

貴社ますますのご清祥、お慶び申し上げます。

さて、我が国の化学産業はわが国第2位の生産量あるいは輸出産業の地位を占めるほどに成長してまいりました。また、我が国では生産性革命や少子高齢化対策なども踏まえて、無人化装置やIoT利用の開発が急速に進んできております。しかし、いかに無人化・遠隔操作が可能な時代にあるとはいえ、その設備や装置を維持管理する使命は人に任されるものであり、無人化とは真逆な方向である高度なプロ人材の役割が各方面で重要と認識されてきております。近畿に拠点を置く多くの化学系製造業においても、高度な人材となるべき設備管理人材の確保は深刻な事態になると見受けられます。そこで、今般、近畿本部 化学部会においては、従来から研究を進めておりました化学物質管理研究会近畿支部活動の強化に連携する形で、化学装置に係る設備管理の勉強会（化学部会 c-SKG 会）を立ち上げ、得られる成果を世に問えるようにしていけるよう目指すものです。

この化学部会 c-SKG 会は、おおむね3年程度を見込んでおります。昨年後半からの初年度は、化学装置に係る設備管理の目的と手段、戦略的設計、化学設備関連法規、実践するうえで、労災防止の視点、未然防止に有効な管理手法、2年目の本年度は設備管理に係るIoT技術学習、化学事件事例研修、ケミカル類の分析関係の見学会などを実施します。来年度以降は、安全工学者などの外部団体からの講義などを受けながら、また、どのような標準的な教材類を提供していくのが良いかなどの課題解決策を講師先生や参加者による相互研鑽を踏まえながら検討していくものです。

この活動は社会貢献活動でもあり、国連の定める継続的開発目標 WSSD2020 目標（化学物質の健康・環境リスク最小化の達成）、国連 SDGs2030 目標（労災・事故死の大幅減少や質の高い教育をみんなになど）並びに技術経営（MOT）にも通じるものとなります。皆様からの、c-SKG 活動に対するご賛同を賜りまして、勉強会講師の派遣、生徒役の勉強会参加をお願いするものです。

これを機に、是非とも、近畿本部協賛団体にお入りいただき、化学部会 c-SKG 会へのご参加をお待ちしております。なお、協賛金は近畿本部部会等活動奨励金の原資として利活用されます。

※近畿本部協賛団体（化学部会担当）に参加した場合

- 1) 協賛団体協賛金：2019年度 25,000円/口/年（～2020年3月末）
- 2) 化学部会 c-SKG 会の特典：
  - c-SKG 会に参加（1名/口）の場合、参加費 3,000円を毎回無料とします。
  - c-SKG 会の講師の場合、心ばかりではありますが、謝礼をいたします。
  - c-SKG 会の成果が出版される場合、お名前を掲載させていただきます。
- 3) その他、近畿本部が定める協賛団体の特典：“協賛団体募集ご案内”を参照願います。

<https://www.ipej-knk.jp/kyousan-dantai.html>

以 上